

新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになった方々にお悔やみ申し上げますとともに、罹患された皆様にお見舞い申し上げます。

第102回全国高等学校野球選手権大会は6月下旬からの49地方大会、8月10日に阪神甲子園球場で開幕予定だった全国大会の中止とともに決定しました。安全と健康を最優先に考えた苦渋の決断です。

約3800校の選手が参加する地方大会は1か月半にわたり約250球場で開催され、全国大会は団体での長時間の移動や長期の宿泊を伴います。選手や大会運営関係者の感染リスクはぬぐえません。休校や部活動の停止も長期化し、練習が十分ではない選手のけがなどが懸念されます。学業の遅れを取り戻すために夏休みの短縮などが検討されるなか、新たな大会日程を確保することも困難です。

今後、スポーツイベント開催の制限が緩和される状況になれば、感染防止対策を充実させたいうえで地域の実情に応じ、高校野球の大会や試合を支援する方策を探っていきます。

令和2年5月20日
日本高等学校野球連盟
朝日新聞社